

8-4-17 I T S 専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会を9回(4、5、6、7、8、10、11、12、1月)開催した。専門委員会を開催しない月もE-mailを活用し、協議と情報交換を実施した(WGの月次報告、指示事項の周知・対応等)。

(2) 勉強会・活動報告会

人流・物流を支える新たな輸送手段であるドローン、観光と地域社会をテーマに、有識者2名(東京大学未来ビジョン研究センター 鈴木特任教授、株式会社 JTB 総合研究所 エグゼクティブフェロー 高松様)をお招きし、ご講演いただいた。ドローンに関しては、ドローンの新たな輸送手段としての可能性や課題について、観光に関しては、最新の観光動向と観光都市が抱える課題、課題を解決するための方向性等についてご講演を頂くと共に、協会会員企業からの参加者を交えたディスカッションを実施した。

(3) WG 活動

a) ITS サービスの現状調査

昨年度調査した自動運転分野に加え、我が国の ITS 全体のこれまでの実現状況をより広く概観し、今後の ITS、自動運転(インフラ協調)の分野において建設コンサルタントが取り組むべき課題等を整理した。

具体的には1999年にITS関係5省庁(当時)において策定された「ITSに係るシステムアーキテクチャ」で示されているITSサービスの現在の実現状況を確認の上、実現していないサービスについて想定される課題を抽出した。

これらの内容を踏まえ、今後のITS実現に向けた建設コンサルタントが取り組むべき役割を整理した。

b) ビッグデータの活用可能性検討

近年各所で取得・蓄積並びに活用が進んでいるビッグデータについて、主に交通分野に関する最新動向を、ビッグデータを扱う事業者との意見交換や関連イベントへの参加を通して調

査し、活用が想定される具体的なデータの種類や技術、データ活用時の課題等について整理した。

- ・ 様々なビッグデータや関連技術の事例整理の更新(ETC2.0、商用車プローブ、スマートフォンGPSデータ、SNS、画像処理技術、AI技術等)

- ・ 観光に着目したビッグデータの種類と活用事例の調査

- ・ 運輸事業におけるビッグデータ活用の現状調査(関係組織との意見交換の実施等)

c) ITSを活用した次世代モビリティに関わる調査

インバウンド戦略により増加する外国人観光客や歯止めのかからない少子高齢化等の社会変化の中で、人の移動が多様化している。このような状況の中、混在するパーソナルな移動体(自転車、超小型モビリティ等)について整理して課題を抽出するとともに、今後の新たな移動体の動向や課題解決に向けた方向性等について検討を行った。

- ・ 現状の様々なモビリティの実体と課題の整理(超小型モビリティ、自転車、搭乗型移動支援ロボット、シニアカー、ドローン等)

- ・ MaaSの現状調査

- ・ 将来のモビリティや街の姿の検討、イメージ作成

2. 次年度の活動について

次年度も今年度の検討テーマを継続して検討し、以下の活動を実施する。

- ・ WGの定例的活動
- ・ WG以外のITSに関連する諸テーマの検討
- ・ 上位委員会からの指示事項への対応や関連委員会、SWG等と連携した検討
- ・ 勉強会・講演会の開催

(ITS専門委員会委員長 松本 章宏)